

### 3 比爪—奥州藤原氏第二の拠点— ① 中核遺跡 《大莊嚴寺跡(3)》

また、薬師神社の西側から後松原家の屋敷地北西付近には、「金毘羅池」という池があったと伝承されています。実際、この付近は周囲に比べて標高が不自然に低くなっており、その範囲の西端には土塁状の高まりが確認されており、人工的な造成の「池」が想定される地形を呈しています。この地形の西端で、平成24年度の比爪館30次調査により、池の岸らしき掘り込み跡が紫波町教育委員会により検出されています。

県立博物館考古部門が、平成25年度にこの周辺の地形測量をおこない、10cm ごとの等高線の微細な地形図を作成しました。その結果、約 100m四方の広がりを持つ池に相当する形状と、その西端に楕円形の島状の高まりが浮かびあがりました。この規模、形状は平泉の無量光院と同規模の阿弥陀堂浄土庭園が想定できる地形です。西側の土塁状の高まりは、無量光院の金堂が建つ西島に酷似した規模、形状です。これらのことから、この比爪館区画内部の南西部が大莊嚴寺の寺域の中心で、その形態は、園池を有する浄土庭園型式の寺院と推測されます。そこに建つ中心仏堂は阿弥陀堂と推測されます。 (次号に続く)

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット9頁より —

## 《《《 7～8月行事予定のお知らせ 》》》

7月15日 (水曜日)	第63回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：大沼耕平 テーマ：遍照寺・赤石神社
		発表者：石幡 信 テーマ：鹿角街道(寺田)を巡る
8月19日 (水曜日)	第64回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：金濱興一 テーマ：下河原訓導頌徳碑について 2

### … 駅からハイキング ご参加・ご協力の お願い …

JR東日本の駅からハイキング 7・8・9月号に、『「平泉」の黄金文化を支えた「比爪」の地を巡る』がエントリーされました。このイベントは、期間内の自分の都合の良い日に各自で参加できます。参加者は受付で渡されたコースマップに従い、定められたポイントを回って歩くもので、参加料は無料で案内人は付きません。詳細はJR各駅で配布している駅からハイキングのパンフレットをご覧ください。コースマップは、参加当日、受付で差し上げることになっています。

なお、受付案内所とチェックポイントの業務を、別紙のとおり支援することにしました。ご都合のつく方は、ぜひ、ご協力をお願いします。

今年は古代蓮の開花が早まりそうで、期間内は見事な花がみられると思われれます。毎年、会で開催している「五郎沼一周、比爪館遺跡めぐり」は行わず、この「駅からハイキング」を当てることにしましたので、多くの会員の参加を期待します。

実施期間：平成27年7月11日(土)から20日(月・祝)まで ※ 事前参加申込み不要  
受付・発着場所：日詰駅前 滝浦商店「さくらばな」 受付時間／午前9時から午後1時まで  
チェックポイント：箱清水公民館玄関前

コース：スタートさくらばな→①比爪館跡→②大莊嚴寺跡→③五郎沼薬師神社→④箱清水公民館(CP)→⑤五郎沼古代蓮の池→⑥黄金伝説の山吹川→⑦五郎沼経塚跡→⑧嶋の堂観音→⑨伝説・夜泣き石→⑩箱清水石卒都婆群→ゴールさくらばな

今回はシリーズ「爪館跡発掘調査」を休みとし、平成27年6月19日に紫波町教育委員会が開催した、南日詰大銀Ⅱ遺跡第1次発掘調査現地説明会の資料(抜粋)を掲載します。

1 遺跡の位置

JR東北線日詰駅から南東約1.3kmに位置し、紫波町南日詰字小路口92-1内に所在し、現在は紫波・稗貫衛生処理組合処理場が稼動中である。遺跡範囲は東西約170m、南北約140mと推定される。

2 調査の経緯

町し尿処理施設設置工事に伴う緊急発掘調査である。

3 これまでの調査と周辺の遺跡

南日詰大銀Ⅱ遺跡は、今回が初めての発掘調査になる。本遺跡の北側に北条館、南側に小路口Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ遺跡、西側に南日詰大銀Ⅰ遺跡などが隣接する。

また国道4号線の西側に比爪館遺跡が存在する。

4 検出遺構

- \* 掘立柱建物跡 . . . . . 数棟
- \* 土坑跡 . . . . . 10基
- \* 柱穴 . . . . . 450口以上
- \* 塀跡 . . . . . 2条

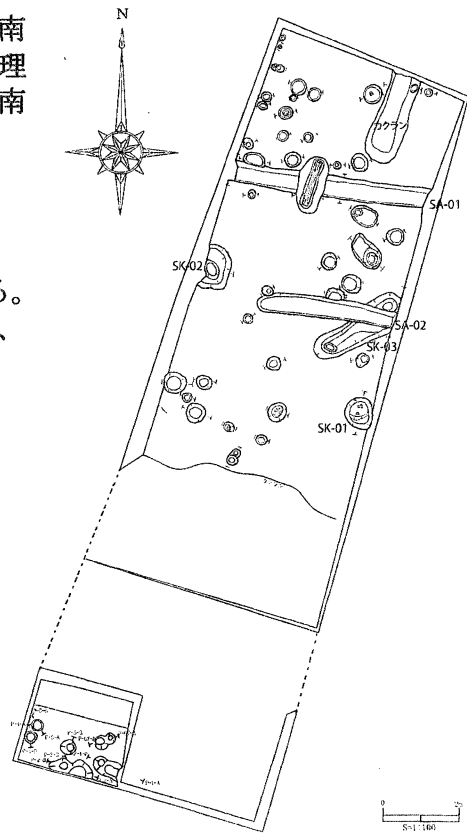
5 出土遺物

- \* かわらけ . . . . . 手づくね、ロクロ (12C)  
総重量56.8kg
- \* 中国産陶磁器 . . . . . 白磁、青磁、黄釉陶器  
(12C~15C)
- \* 国産陶器 . . . . . 染付茶碗 (16C~18C)
- \* 土師器 . . . . . 坏 (9C)
- \* 古銭 . . . . . 永楽通宝 (16C)

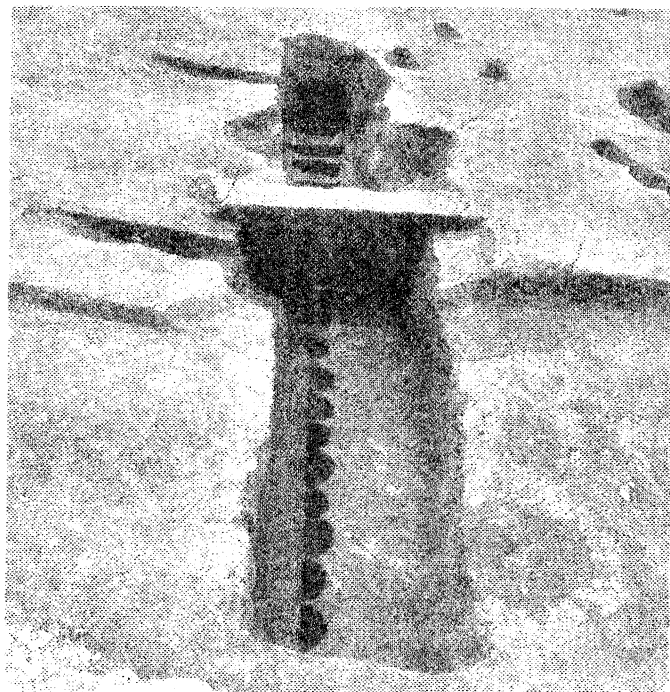
6 まとめ

比爪館遺跡の東側は赤石小学校から約650mまで確認がされている(岩手県埋蔵文化財センターが小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡内にトレンチを(数十本)設定し掘削及び本調査を実施し、比爪館関連施設の最東部を確認)。今回、本遺跡を調査実施し、検出遺構及び出土遺物等からこのエリアは、比爪館関連遺跡と推測され、範囲がさらに東側及び北側に広がる事がわかった。

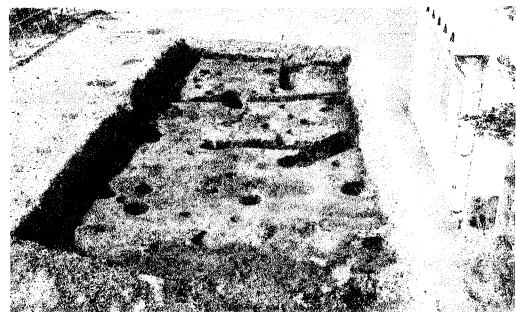
まだ、精査中であることから、今後調査が進む事で新たな知見が得られると思われる。



I区 遺構配置図



II区 塀跡 SA-01(東から)



I区 全景(南から)



II区 全景(南から)